

資料 2 2024年度町田市保健所運営協議会の開催概要（自殺対策部分抜粋）について

1 日 時：2024年7月22日（月）19：00～20：40

2 場 所：市庁舎 10階 10－3～10－5会議室

3 出席者一覧 ※敬称略

区分	所属	氏名	出欠
学識経験者	北里大学医学部	堤 明純	出
	産婦人科医	吉岡 俊輝	出
	こころのホスピタル町田	宮地 英雄	出
	昭和女子大学食健康科学部	調所 勝弘	出
医療関係団体の代表	一般社団法人 町田市医師会	山下 弘一	出
	公益社団法人 東京都町田市歯科医師会	戸羽 一	出
	一般社団法人 町田市薬剤師会	佐藤 康行	出
	東京都獣医師会町田支部	原田 智	出
	町田市民病院	金崎 章	欠
市民団体からの選出	町田市民生・児童委員協議会町田第二地区	渡辺 綱市	出
	町田市町内会・自治会連合会	川畑 一隆	出
関係行政機関の代表	警視庁町田警察署	川崎 和己	出（代）
	警視庁南大沢警察署	今村 輝明	欠
	東京消防庁町田消防署	黒崎 清貴	出（代）

4 主な議事

- ・「まちだ健康づくり推進プラン 24・31」について
- ・2023年度町田市保健所の事業実績報告及び2024年度事業計画と進捗状況

5 自殺対策部分の概要について

市の自殺対策事業の2023年度の実績及び2024年度の計画を各委員に報告し、以下の意見が出されました。

（1）自殺対策全般の意見等

- ・自殺の原因や内容は様々な領域にまたがっているため、市民団体、警察署、消防署の方々と、どうやって連携していけばいいかということが重要だと思っている。
- ・SNSを使ってみたり、孤立というワードも非常に大切になってきているので、各方面にご協力いただければと思う。
- ・自殺対策には児童の自殺も対象となっているのか。→なっている。自殺対策推進委員会では、小学校、中学校の校長先生方にも出席いただいて、数はそれほど多くはないが様々なサインが出ているということで、それを拾ったり、バックアップしたりしていくかという意見が出たのでそこも反映をしていければと思う。
- ・子どもの原因は特定が難しい。
- ・問題の深さとしては若年の方もある。若年層向けには、さっきも出ましたが、SNSは活用できるツールになってきている。

（２）オーバードーズ関連の意見等

- ・オーバードーズの件数について。自殺対策と近いのかもしれないが、最近分かってきたこととして圧倒的に女性が多い。
- ・原因としては生きづらさからきている。
- ・薬の入手場所は薬局・ドラッグストアとなっているが、対象品目を大量に置いている薬局はあまりなく、薬剤師会だけで対処するのは難しいと考えている。できることとしては、オーバードーズも自殺対策と同じく気づきや声かけ、つなぐことが大切。そういった意味では、これまでオーバードーズは薬物乱用に近いと考えていたが、自殺に近いのという印象。そうなると、ゲートキーパーと考えたときに、いきなり自殺ということではなく、オーバードーズという切り口もあるのではないかと思う。
- ・よく様々なところから、自殺予防月間ということでポスター等がくるが、掲示するのに印象がきつく感じることもある。オーバードーズを自殺対策の入り口のひとつとして、考えてもらうこともあるのではないか。